

2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月29日

文化シヤッター株式会社

目次

P1 2019年3月期 第2四半期の実績について

- P2 事業環境
- P3 業績
- P4 売上高および営業利益の増減要因
- P5 セグメント別売上高および営業利益
- P6 売上高の用途別セグメント別分析

P7 2019年3月期の見通しについて

- P8 事業環境予想
- P9 業績見通し
- P10 売上高および営業利益の増減要因
- P11 セグメント別状況

P12 重点施策の進捗状況について

- P13 基幹事業の拡大 シャッター事業の強化
- P14 基幹事業の拡大 ドア・パーティション事業の強化
- P15 注力事業の強化 エコ&防災事業の強化
- P16 注力事業の強化 メンテナンス事業の強化
- P17 注力事業の強化 ロングライフ事業の強化
- P18 注力事業の強化 海外事業の強化

P19 トピックス

- P20 トピックス 転換社債の発行他について
- P21 トピックス 新商品紹介

P22 参考資料

- P23 文化シャッターグループ概要
- P24 文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開
- P25 連結貸借対照表
- P26 連結キャッシュフロー計算書
- P27 シャッター関連製品の状況（単体）
（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）
- P28 建材関連製品の状況（単体）
（ドア、パーティション、エクステリア）

2019年3月期 第2四半期の実績について

	2017年3月期上期		2018年3月期上期		2019年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	50.0	106.0%	49.6	99.3%	49.1	98.9%

非住宅着工床面積 (万㎡)	2017年3月期上期		2018年3月期上期		2019年3月期上期	
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率
工場 (万㎡)	405	83.4%	471	116.2%	564	119.7%
倉庫 (万㎡)	481	120.6%	502	104.3%	426	84.8%
医療・福祉 (万㎡)	348	107.1%	318	91.4%	241	75.7%
店舗 (万㎡)	327	94.0%	305	93.1%	292	95.6%
事務所 (万㎡)	337	94.3%	340	100.7%	331	97.3%

◆ 経済環境は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が続いたが、大型台風や地震等の自然災害が発生した影響により、一時的に景況感は悪化した。また、世界経済における一部の保護主義政策に伴う貿易摩擦の懸念等、景気は先行き不透明な状況で推移した。

◆ 建築市場について、当グループの先行指標である新設住宅着工戸数は、前年同期比1.1%減の49万1,000戸で推移した。

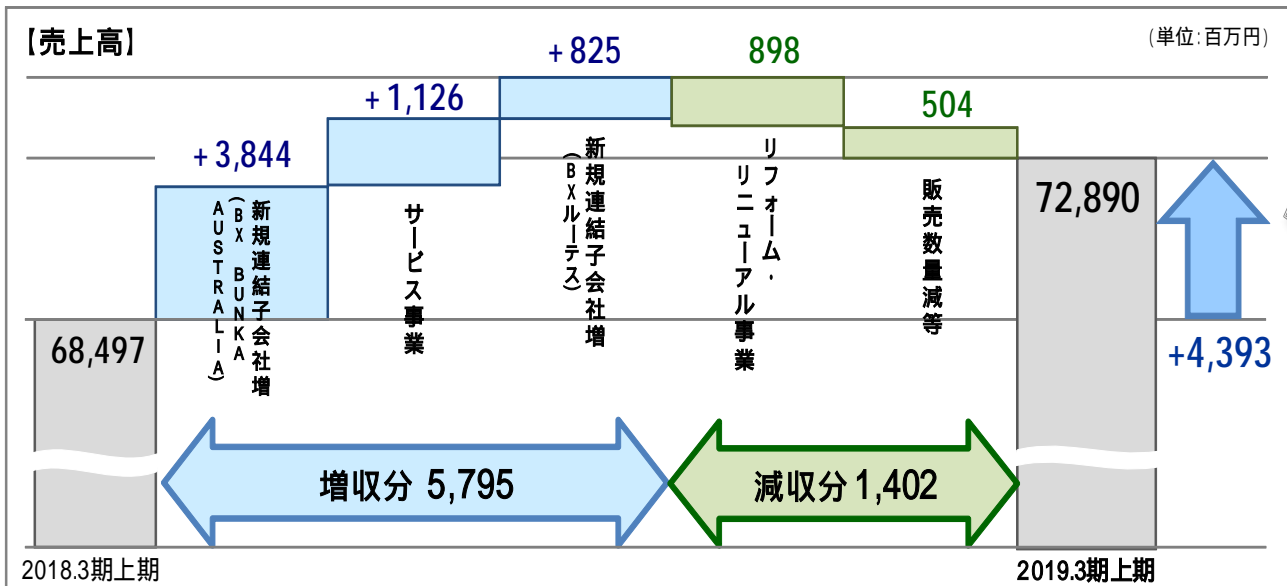
非住宅着工床面積(建築確認申請時点)は、工場が増加したものの、倉庫、医療・福祉、店舗、事務所が減少したことで、前年同期比3.5%減の2,697万㎡と、前年を下回った。

(単位:百万円)

	2018年3月期上期		2019年3月期上期				
	実績	売上比	期初予想	実績	売上比	前年同期比	予想比
売上高	68,497	100.0%	76,200	72,890	100.0%	106.4%	95.7%
売上原価	50,360	73.5%	54,600	53,711	73.7%	106.7%	98.4%
売上総利益	18,136	26.5%	21,600	19,179	26.3%	105.8%	88.8%
販売費及び一般管理費	16,616	24.3%	19,600	17,467	24.0%	105.1%	89.1%
営業利益	1,519	2.2%	2,000	1,712	2.3%	112.7%	85.6%
経常利益	1,587	2.3%	2,250	1,736	2.4%	109.4%	77.2%
当期純利益	523	0.8%	1,200	934	1.3%	-	77.8%
1株当たり配当金	10円		10円	10円		-	-
設備投資額	2,536		-	1,770		69.8%	-
減価償却費	1,639		-	1,819		111.0%	-
期末 従業員 (人)	正社員	4,150	-	4,645		495	-
	臨時雇用者	1,094	-	1,165		71	-
	合計	5,244	-	5,810		566	-

- ◆ 「売上高」は、当期より連結対象となったBX BUNKA AUSTRALIAとBX ルーテスが寄与し、8期連続の増収。
- ◆ 「営業利益」は、減価償却費と原材料価格等の増加に伴う売上原価率のアップと、販売費及び一般管理費の増加分を、好調なサービス事業と新規連結子会社の業績寄与でカバーしたことにより、「当期純利益」とともに4期ぶりの増益。
- ◆ 「設備投資額」約18億円の主な内訳は、
 - ・子会社の新工場建設と設備の更新で約6億円
 - ・新販売システム他開発費で約2億円
 - ・設備の合理化・更新他で約10億円
- ◆ 「1株当たり配当金」は10円。

売上高および営業利益の増減要因

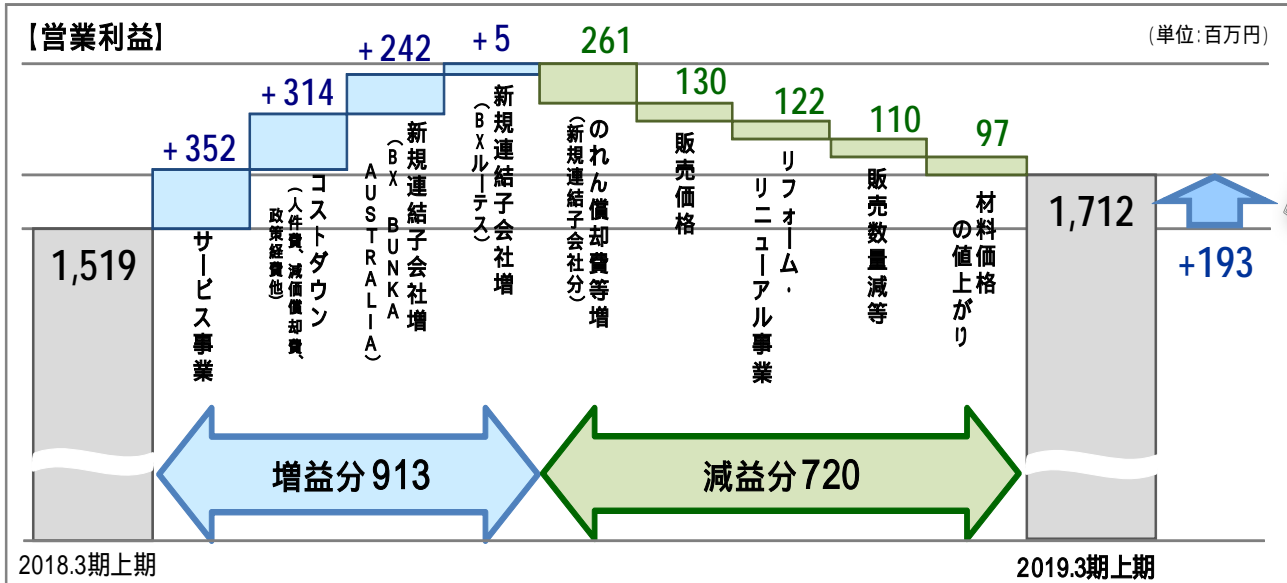


◆「売上高」の増減要因

増収要因は、「新規連結子会社の増加」、「サービス事業」が寄与。

減収要因は、「リフォーム・リニューアル事業」、「販売数量の減少」が影響。

トータルで43億9,300万円の「増収」。



◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「サービス事業」、「企業コスト削減の取り組み」、「新規連結子会社の増加」などが寄与。

減益要因は、「のれん償却費等の増加」、「主にドア製品群の販売価格ダウン」、「リフォーム・リニューアル事業」などが影響。

トータルで1億9,300万円の「増益」。

セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2018年3月期上期		2019年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	23,351 (24,400)	1,915 (3,300)	26,405 (28,000)	2,251 (2,250)
伸率	99.7%	65.6%	113.1%	117.5%
増減	77	1,005	3,054	336
建材関連製品事業	30,770 (32,700)	318 (800)	31,744 (32,900)	78 (400)
伸率	114.8%	49.0%	103.2%	-
増減	3,961	331	974	396
サービス事業	8,750 (8,500)	715 (600)	9,876 (9,500)	1,067 (800)
伸率	109.7%	124.7%	112.9%	149.1%
増減	770	141	1,126	352
リフォーム事業	3,979 (3,800)	69 (0)	3,081 (3,900)	53 (80)
伸率	114.9%	-	77.4%	-
増減	515	203	898	122
その他事業	1,644 (1,600)	100 (100)	1,782 (1,900)	103 (120)
伸率	111.3%	106.3%	108.4%	103.4%
増減	167	6	138	3
配賦不能額	-	1,599 (1,800)	-	1,577 (1,650)
合計	68,497 (71,000)	1,519 (3,000)	72,890 (76,200)	1,712 (2,000)
伸率	108.4%	63.6%	106.4%	112.7%
増減	5,337	871	4,393	193

()は期初予想数字

- ◆「シャッター関連製品事業」は、国内においては重量シャッターが低調な一方で軽量シャッターが堅調に推移したことで、新規連結子会社分としてオーストラリアにおけるオーバースライディングドアの売上が寄与し、「増収増益」。
- ◆「建材関連製品事業」は、新規連結子会社の増加が寄与した一方で、主に医療・福祉施設や商業施設向けのドアやパーティションが低調に推移したことにより、「増収減益」。
- ◆「サービス事業」は、主にシャッターの修理売上と、法定点検の売上が増加したことにより、「増収増益」。
- ◆「リフォーム事業」は、住宅リフォーム業界における競争激化の影響とビルリニューアル事業の受注の減少により、「減収減益」。
- ◆「その他事業」は、止水製品の売上が堅調に推移したことなどにより、「増収増益」。

売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群		用途	合計	工場・倉庫	オフィスビル・公共施設	医療福祉・学校	商業施設	住宅その他
増収額			43.9	6.9	9.1	3.5	3.5	48.7
売上高			728.9	157.0	85.2	64.9	43.1	378.7
シャッター関連製品事業計	増収額		30.5	8.9	2.8	0.8	0.7	38.1
	売上高		264.1	92.8	16.7	7.2	17.9	129.5
軽量シャッター群	増収額		4.6	2.3	0.0	0.0	0.2	2.5
	売上高		81.9	31.1	4.0	1.0	5.0	40.8
重量シャッター群	増収額		30.1	11.7	2.2	0.1	0.0	39.7
	売上高		133.9	52.1	9.7	3.5	9.6	59.0
窓シャッター群	増収額		4.0	-	-	-	-	4.0
	売上高		23.2	-	-	-	-	23.2
シャッター関連群	増収額		0.2	0.5	0.6	0.7	0.5	0.1
	売上高		25.1	9.6	3.0	2.7	3.3	6.5
建材関連製品事業計	増収額		9.7	0.1	1.4	4.8	3.1	16.1
	売上高		317.4	31.7	43.9	48.7	11.7	181.4
エクステリア群	増収額		1.7	-	-	-	-	1.7
	売上高		39.6	-	-	-	-	39.6
ドア・パーティション群	増収額		3.9	0.1	1.4	4.8	3.1	10.3
	売上高		189.9	31.7	43.9	48.7	11.7	53.9
その他建材製品群	増収額		4.1	-	-	-	-	4.1
	売上高		87.9	-	-	-	-	87.9
サービス事業計	増収額		11.2	1.1	4.1	2.0	0.5	3.5
	売上高		98.8	29.1	22.1	7.8	12.5	27.3
リフォーム事業計	増収額		8.9	-	-	-	-	8.9
	売上高		30.8	-	-	-	-	30.8
その他事業計	増収額		1.4	0.8	0.8	0.1	0.2	0.1
	売上高		17.8	3.4	2.5	1.2	1.0	9.7

- ◆ 増収額43億9,000万円を用途別で見ると、「住宅その他」「オフィスビル・公共施設」向けが牽引。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、サービス事業が牽引した結果、9億1,000万円の「増収」。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、物流倉庫向けの重量シャッター群の減少が影響し、6億9,000万円の「減収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けはドア・パーティション群の減少が影響し、3億5,000万円の「減収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、ドア・パーティション群の減少が影響し、3億5,000万円の「減収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、新規連結子会社の「BX BUNKA AUSTRALIA」および「BX ルーテス」が寄与し、48億7,000万円の「増収」。

2019年3月期の見通しについて

【事業環境】	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率
新設住宅着工戸数 (万戸)	97.4	105.8%	94.6	97.2%	96.4	101.8%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,133	102.7%	5,331	103.9%	5,422	101.7%
工場 (万㎡)	828	93.6%	919	110.9%	972	105.8%
倉庫 (万㎡)	865	106.9%	989	114.2%	951	96.2%
医療・福祉 (万㎡)	736	106.4%	625	84.9%	500	80.0%
店舗 (万㎡)	561	92.8%	553	98.5%	544	98.3%
事務所 (万㎡)	668	109.2%	668	99.9%	700	104.8%

新設住宅着工床面積と非住宅着工床面積は、(一財)建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期上期
住宅向け	34.6%	38.3%	43.0%
非住宅向け	65.4%	61.7%	57.0%

- ◆ 経済環境は、個人消費に持ち直しの動きが見られ、企業の設備投資が増加傾向にあることと、雇用・所得環境の継続的な改善などを背景に、経済の好循環が進展する中で、国内景気は緩やかに回復する見通し。
その一方で、世界経済における一部の保護主義政策に伴う貿易摩擦など、景気は先行き不透明な状況が続くものと予想。
- ◆ 建築市場について、新設住宅着工戸数は持家および分譲戸建住宅における消費税増税の駆け込み需要の影響により、前期比1.8%増の96万4,000戸を予想。

非住宅着工床面積は、企業収益の改善や生産の増加を背景に、設備投資は底堅く推移する見込みから、前期比1.7%増の5,422万㎡で推移すると予想。

(単位:百万円)

	2018年3月期				2019年3月期							
	上期実績	下期実績	通期実績	売上比	上期実績	下期予想	前年同期比	通期予想				
								11月予想	売上比	前期比	増減	
売上高	68,497	87,018	155,515	100.0%	72,890	101,110	116.2%	174,000	100.0%	111.9%	18,485	
売上原価	50,360	65,087	115,447	74.2%	53,711	75,089	115.4%	128,800	74.0%	111.6%	13,353	
売上総利益	18,136	21,932	40,068	25.8%	19,179	26,021	118.6%	45,200	26.0%	112.8%	5,132	
販売費及び一般管理費	16,616	16,650	33,266	21.4%	17,467	19,033	114.3%	36,500	21.0%	109.7%	3,234	
営業利益	1,519	5,282	6,801	4.4%	1,712	6,988	132.3%	8,700	5.0%	127.9%	1,899	
経常利益	1,587	6,094	7,681	4.9%	1,736	7,764	127.4%	9,500	5.5%	123.7%	1,819	
当期純利益	523	3,718	3,195	2.1%	934	4,866	130.9%	5,800	3.3%	181.5%	2,605	
1株当たり配当金	10円	10円	20円		10円	10円		20円		-	-	
設備投資額	2,536	2,140	4,676		1,770	-		3,500		-	1,176	
減価償却費	1,639	1,758	3,397		1,819	-		4,000		-	603	
期末従業員 (人)	正社員	4,150	-	4,478	4,645	-		4,600		-	122	
	臨時雇用者	1,094	-	1,118	1,165	-		1,160		-	42	
	合計	5,244	-	5,596	5,810	-		5,760		-	164	

◆「売上高および営業利益」

国内景気が回復基調で推移する中、台風や地震などの災害対応による受注の増加と、新規連結子会社3社の寄与を見込み、売上高は184億8,500万円増の1,740億円、営業利益は18億9,900万円増の87億円を予想。

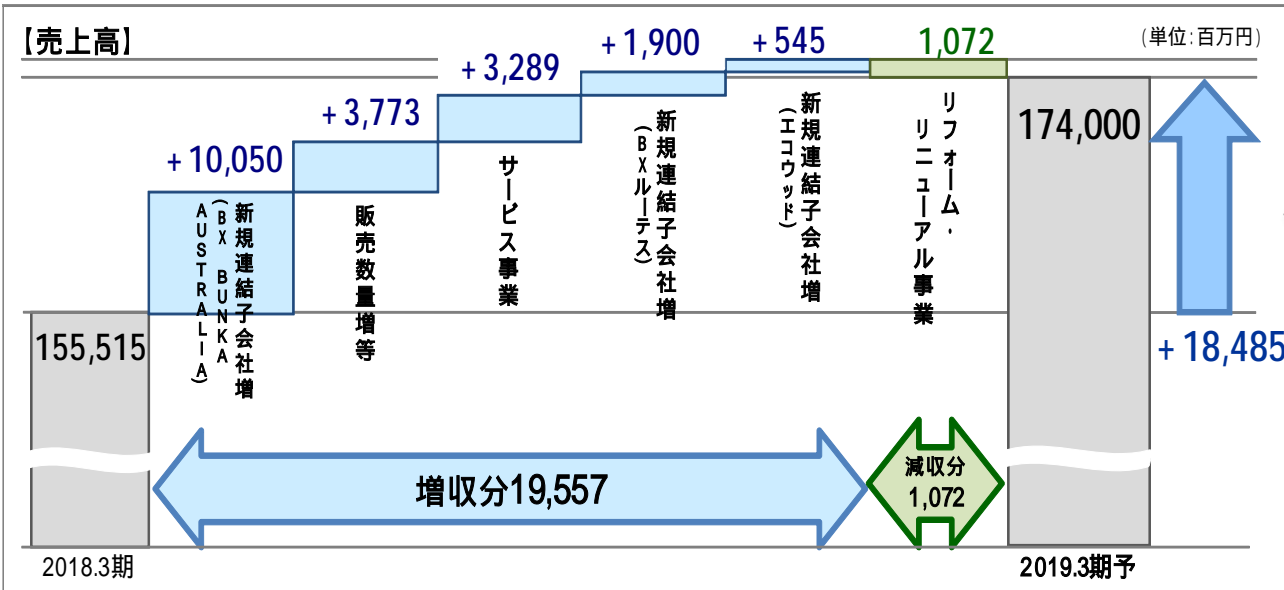
◆「設備投資額35億円の主な内訳」

- ・設備の合理化・更新他で約19億円
- ・子会社の工場建設と設備の更新他で約10億円
- ・新販売システム他開発費で約6億円

◆「1株当たり配当金」

上期10円、下期10円の通期20円を予定。

売上高および営業利益の増減要因

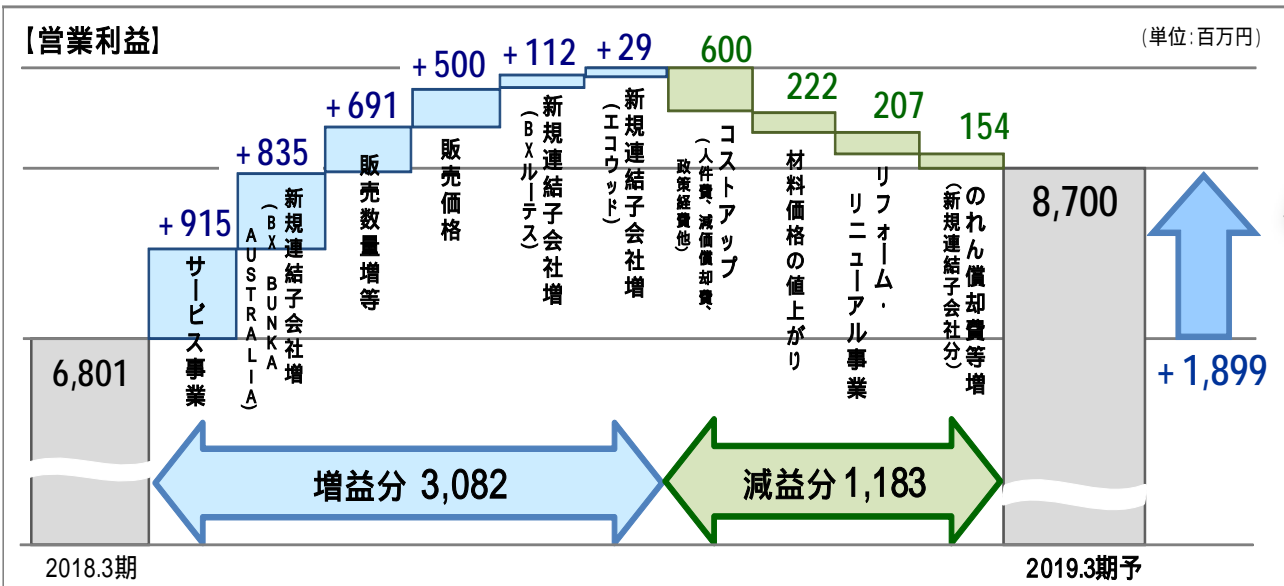


◆「売上高」の増減要因

増収要因は、「新規連結子会社の増加」、「販売数量の増加」、「サービス事業」など。

減収要因は、「リフォーム・リニューアル事業」。

トータルで184億8,500万円の「増収」を見込む。



◆「営業利益」の増減要因

増益要因は、「サービス事業」、「新規連結子会社の増加」、「販売数量の増加」など。

減益要因は、処遇改善に伴う給与手当の増加や取付経費の増加などの「コストアップ」と「材料価格の値上がり」など。

トータルで18億9,900万円の「増益」を見込む。

セグメント別状況

(単位:百万円)

【売上高】	2018年3月期						2019年3月期							
	上期実績			通期実績			上期実績			通期予想				
	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	増減	期初予想	11月予想	伸率	増減	
シャッター関連事業	23,351	99.7%	77	51,922	100.9%	477	26,405	113.1%	3,054	63,600	63,000	121.3%	11,078	
建材関連事業	30,770	114.8%	3,961	71,892	110.1%	6,617	31,744	103.2%	974	76,500	76,600	106.5%	4,708	
サービス事業	8,750	109.7%	770	19,711	111.2%	1,984	9,876	112.9%	1,126	21,300	23,000	116.7%	3,289	
リフォーム事業	3,979	114.9%	515	8,072	103.5%	274	3,081	77.4%	898	8,200	7,000	86.7%	1,072	
その他事業	1,644	111.3%	167	3,916	108.5%	306	1,782	108.4%	138	4,400	4,400	112.4%	484	
合計	68,497	108.4%	5,337	155,515	106.6%	9,660	72,890	106.4%	4,393	174,000	174,000	111.9%	18,485	

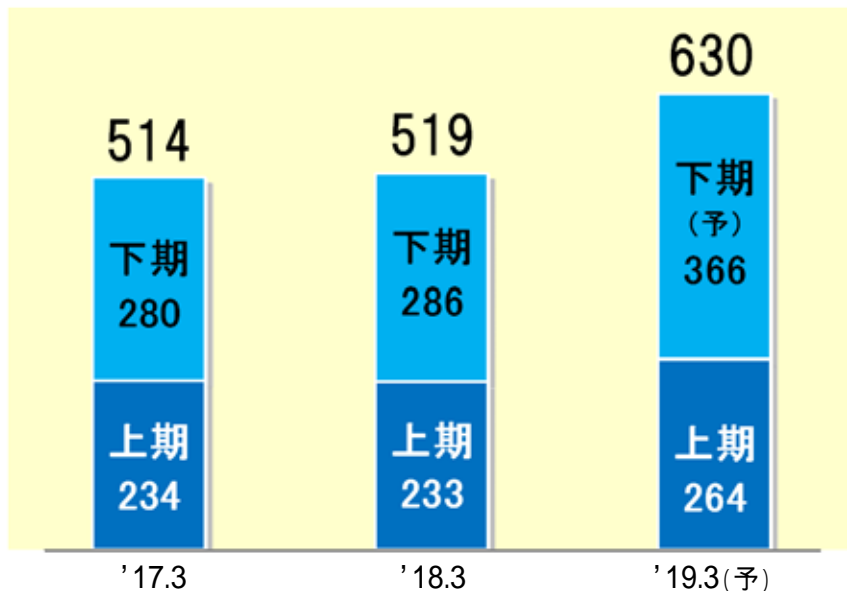
【営業利益】	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	増減	期初予想	11月予想	伸率	増減
シャッター関連事業	1,915	65.6%	1,005	5,604	82.6%	1,184	2,251	117.5%	336	7,000	6,850	122.2%	1,246
建材関連事業	318	49.0%	331	1,727	94.4%	102	78	-	396	2,000	1,750	101.3%	23
サービス事業	715	124.7%	141	2,285	116.7%	326	1,067	149.1%	352	2,600	3,200	140.0%	915
リフォーム事業	69	-	203	207	-	406	53	-	122	250	0	-	207
その他事業	100	106.3%	6	191	76.8%	57	103	103.4%	3	250	200	104.5%	9
配賦不能額	1,599	93.4%	114	3,214	96.0%	132	1,577	98.6%	22	3,400	3,300	102.7%	86
合計	1,519	63.6%	871	6,801	93.4%	479	1,712	112.7%	193	8,700	8,700	127.9%	1,899

【受注残高】	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	増減	期初予想	11月予想	伸率	増減
シャッター関連事業	21,637	103.7%	779	21,883	116.1%	3,027	26,958	124.6%	5,321	22,700	24,500	112.0%	2,617
建材関連事業	41,991	110.5%	3,993	35,805	105.1%	1,749	44,518	106.0%	2,527	37,000	38,500	107.5%	2,695
サービス事業	2,387	112.1%	257	2,070	119.7%	340	3,542	148.4%	1,155	2,200	3,000	144.9%	930
リフォーム事業	1,332	84.3%	249	879	64.8%	478	1,489	111.8%	157	1,000	1,200	136.5%	321
その他事業	1,034	114.6%	131	801	97.0%	25	1,290	124.7%	256	900	1,000	124.8%	199
合計	68,383	107.7%	4,912	61,440	108.1%	4,613	77,800	113.8%	9,417	63,800	68,200	111.0%	6,760

【受注高】	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	伸率	増減	増減	期初予想	11月予想	伸率	増減
シャッター関連事業	26,132	95.7%	1,183	54,950	103.0%	1,620	31,481	120.5%	5,349	64,416	65,616	119.4%	10,666
建材関連事業	38,705	111.6%	4,027	73,641	106.4%	4,439	40,457	104.5%	1,752	77,694	79,294	107.7%	5,653
サービス事業	9,407	111.1%	943	20,051	112.6%	2,241	11,347	120.6%	1,940	21,429	23,929	119.3%	3,878
リフォーム事業	3,953	102.7%	103	7,594	95.4%	366	3,691	93.4%	262	8,320	7,320	96.4%	274
その他事業	1,853	94.6%	105	3,891	96.9%	123	2,271	122.6%	418	4,498	4,598	118.2%	707
合計	80,053	105.0%	3,786	160,129	105.1%	7,811	89,250	111.5%	9,197	176,359	180,759	112.9%	20,630

重点施策の進捗状況について

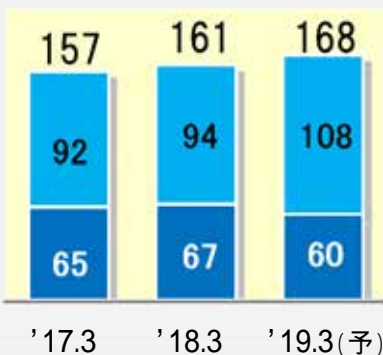
「シャッター事業」売上高(億円)



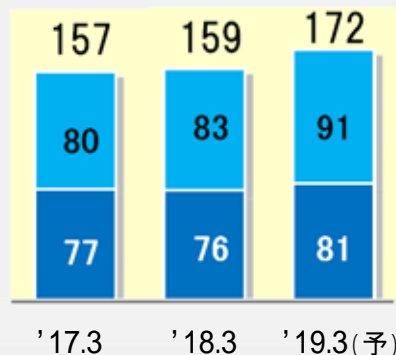
◆シャッター事業

- ・上期は、重量シャッター等が低調に推移したが、軽量シャッターが堅調に推移したことと、新規連結子会社分としてBX BUNKA AUSTRALIAの住宅向けオーバースライディングドアの売上が寄与した結果、売上高は前年同期比31億円増の264億円となった。
- ・通期は、オーストラリアにおける新規連結子会社分と、国内においては東京五輪関連施設や再開発物件等の好調な非住宅向けの受注残を背景に、売上高は630億円を見込む。

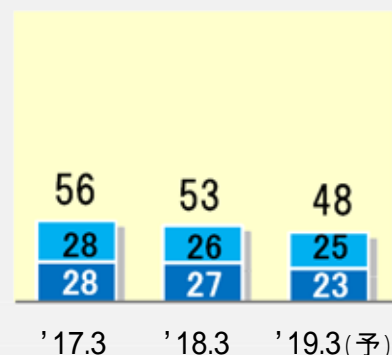
「重量シャッター」売上高



「軽量シャッター」売上高

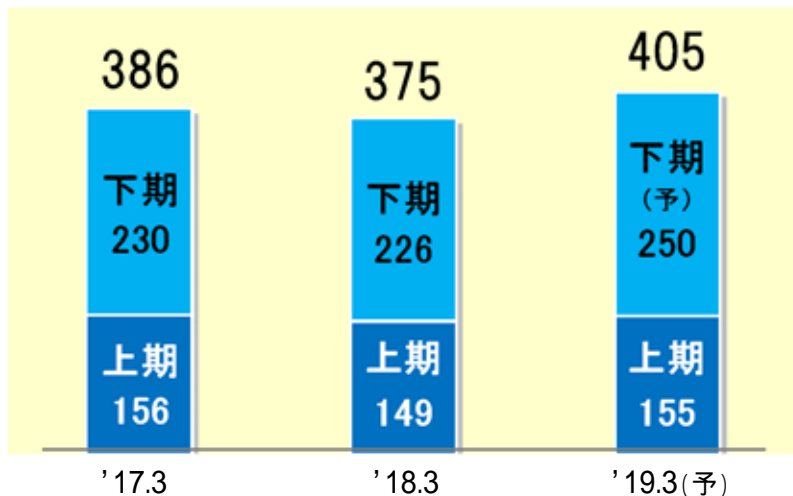


「窓シャッター」売上高

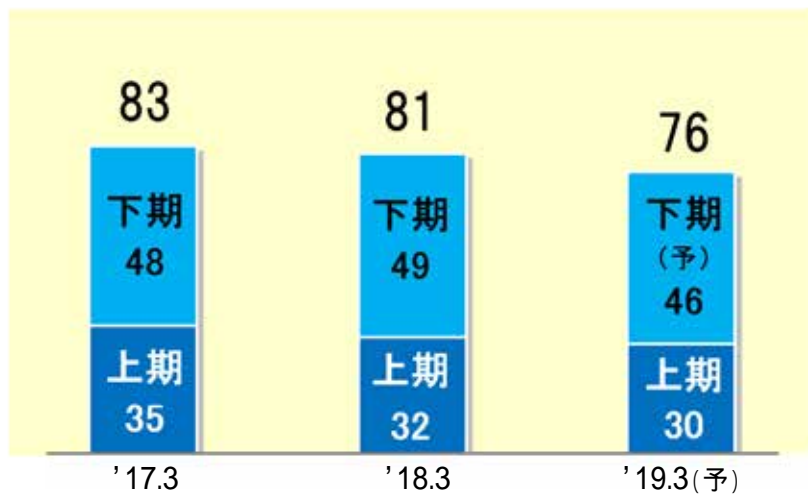


ガレージシャッターのラインナップ拡充を中心にリニューアルしたBXビル内展示スペース

「ドア事業」売上高(億円)



「パーティション事業」売上高(億円)



◆ドア事業

- ・上期は、「医療・福祉施設」と「商業施設」向けが低調に推移したが、新規連結子会社としてBXルーテスの売上が寄与した結果、売上高は前年同期比6億円増の155億円となった。
- ・通期は、新規連結のBXルーテスの増加分と、再開発物件など非住宅向けの堅調な受注残を背景に、売上高は405億円を見込む。

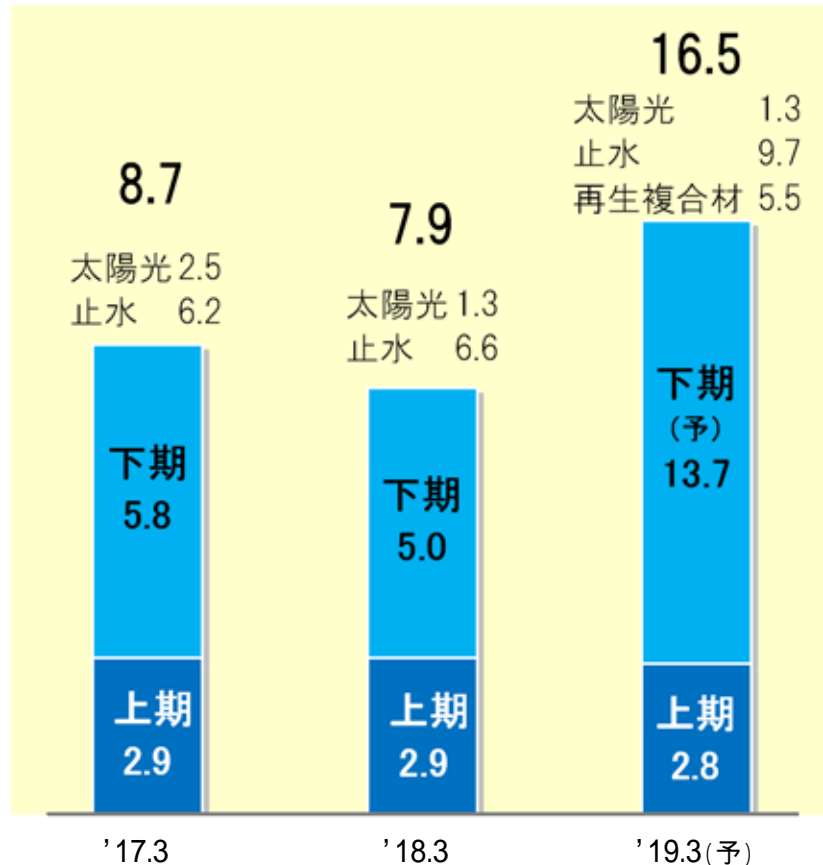
◆パーティション事業

- ・上期は、主に「工場」と「学校」向けの減少が影響し、売上高は前年同期比2億円減の30億円となった。
- ・通期は、当期受注当期売上を加速させることで、売上高は76億円を見込む。



リニューアルしたBXビル内展示スペースに新設したマンション向け玄関引戸「ヴァリフェイスAe」(右)と高齢者集合住宅向け玄関引戸「ヴァリフェイス」

「エコ＆防災事業」売上高(億円)



◆エコ＆防災事業

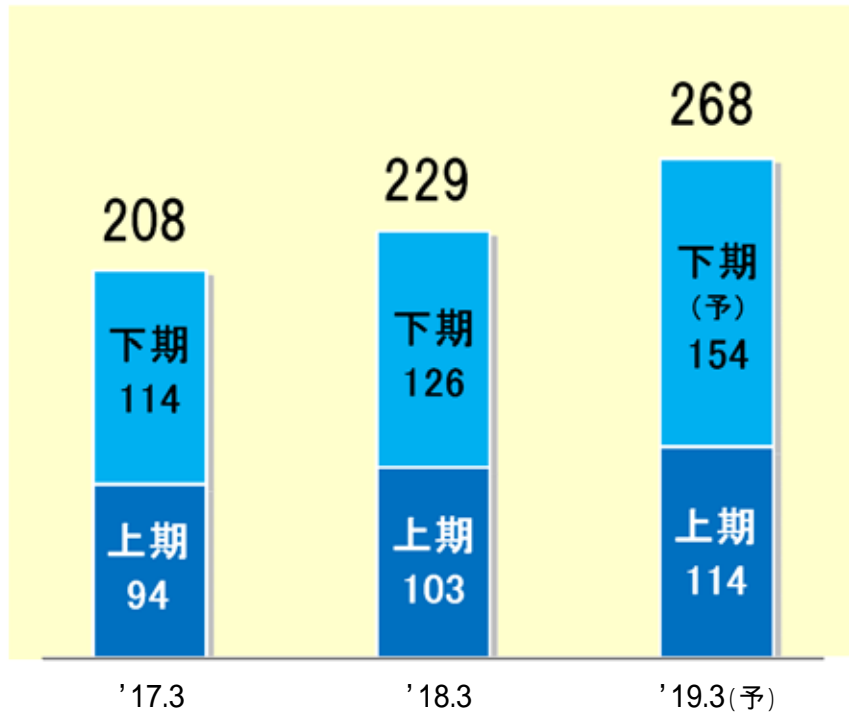
- ・太陽光発電システム(エコ事業)の売上が低調に推移したが、止水製品(防災事業)の売上が堅調に推移したことにより、上期の売上高は、前年同期比で微減の2億8,000万円となった。
- ・エコ事業については、環境負荷の少ない「再生複合材」を製造する(株)エコウッドの子会社化を機に、エコ建材としての売上分を新たに追加。防災事業については、相次ぐ自然災害に対する防災・減災の意識の高まりを背景に、止水事業の強化拡充に引き続き注力することで、通期の売上高16億5,000万円をめざす。



< テレビ番組による止水製品の紹介 >

10月9日放映のテレビ朝日系列「羽鳥慎一モーニングショー」で止水事業の取り組みと止水商品が紹介された。

「メンテナンス事業」売上高(億円)

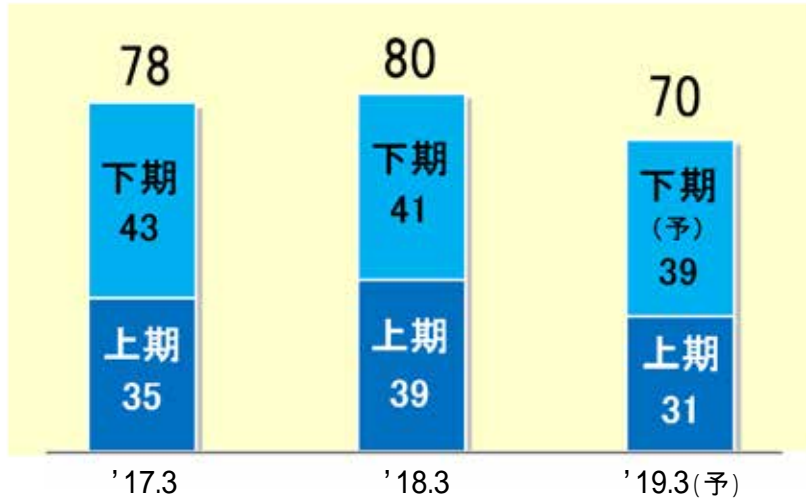


◆メンテナンス事業

- ・上期は、安全装置の提案などによる修理売上と、法定点検の売上が寄与し、売上高は前年同期比11億円増の114億円となった。
- ・通期は、台風や地震などの災害対応に伴う修理売上と、法定点検の売上増加の寄与を考慮し、売上高は前期比39億円増の268億円を見込む。



「ロングライフ事業」売上高(億円)



リニューアル工事中のビル



内装リニューアルの事例

◆ロングライフ事業

- ・上期は、住宅リフォーム業界における競争激化の影響とビルリニューアル事業の受注の減少により、前年同期比8億円減の31億円となった。
- ・通期の売上高は、前期比10億円減の70億円を見込む。

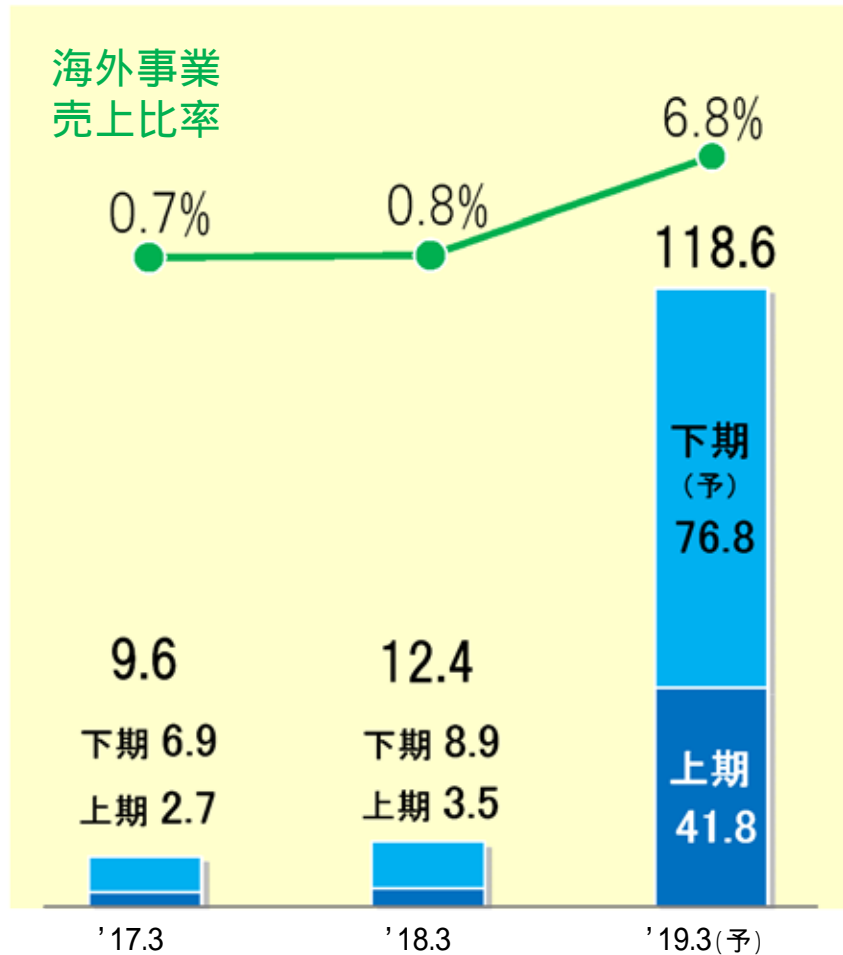
<住宅リフォーム事業>

- ・施工品質と施工体制を強みに新規顧客およびリピート顧客を獲得することで、受注拡大に繋げる。

<ビルリニューアル事業>

- ・マンションの大規模改修をはじめ、これまで手がけてきた耐震改修のノウハウを活かした元請け対応を強化することで、売上拡大を図る。

「海外事業」売上高(億円)



◆海外事業

- ・BX BUNKA AUSTRALIAが連結子会社になったことで、上期の売上高は前年同期比38億3,000万円増の41億8,000万円となった。
- ・通期は、東南アジアにおける事業展開の中心拠点であるベトナムにおいて、樹脂サッシ最大手のEUROWINDOWとの連携強化を図り、ローカル物件の受注拡大を推し進める。また、オーストラリアにおいては、BX BUNKA AUSTRALIAによる同国内でのトップシェアをさらに強固にすることで、海外事業全体として売上高118億6,000万円をめざす。



オーストラリアの住宅に採用されたオーバースライディングドア

トピックス

転換社債の発行について

成長戦略のための資金調達と企業価値増大に向けた強固な財務基盤の構築を目的として、額面総額100億円の「2023年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債」を9月13日付で発行。

ArcPac Garage Doors Pty Ltd(現 BX BUNKA AUSTRALIA)およびルーテス株(現 BXルーテス株)の株式取得費として充当。

(株)エコウッドの連結子会社化について

木材・プラスチック再生複合材の製造、販売を手掛ける「(株)エコウッド」の株式を追加取得し、出資比率を70%に拡大。

今年度よりグリーン購入法の特定調達品目として追加された再生複合材「テクモク」を、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築に貢献する「エコ製品」として拡販するべく、今回の連結子会社でさらなるシナジーの創出に繋げる。



(株)エコウッドの工場外観



再生複合材「テクモク」

次期情報システムについて

今年度の経営方針『生産性を追求した働き方改革』を実現するため、「販売管理」「会計」「人事」をテーマとした「次期情報システム」が今下期より稼働。

諸業務の電子化と効率化を促進する新システムの導入により「労働時間の短縮」と「ワークライフバランスの向上」を図り、『生産性を追求した働き方の改革』を実現する。

新商品 (今上期発売の主な商品他)

意匠性が高く錆びにくい
ステンレス製の止水ドア



7月発売開始

止水ドア
「アクアード・スチールタイプ小窓付き」

外出先からスマホ操作できる
IoT化した電動窓シャッター



9月発売開始

電動窓シャッター
「マドマスター・スマートタイプ」

お使いの手動窓シャッターを
簡単に電動窓シャッターに切替可能



9月発売開始

窓シャッター後付電動化キット
「オートマンミニ2」

<特徴>

- ・軽くて簡単に操作できる止水ドア
- ・扉を開閉することなく、屋外の浸水状況をリアルタイムに確認

<特徴>

- ・ワイヤレス集中制御システム「セレコネクト2」の刷新に伴い、
- ・宅内外からスマホ操作で開閉および状態確認が可能
- ・スマートスピーカーに話しかけて電動窓シャッターを開閉

<特徴>

- ・ワイヤレス集中制御システム「セレコネクト2」に対応
- ・宅内外からスマホ操作で窓シャッターの開閉および状態確認が可能
- ・スマートスピーカーやHEMS機器と連携
- ・工事は半日のスピード施工

參考資料

経営理念	「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」 「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」 「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
概 要	文化シャッター株式会社及び連結子会社25社(2018年11月現在)
事 業	シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、 リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
拠 点	338営業拠点 130サービス拠点 30工場(2018年11月現在)
従業員数	4,645名(2018年9月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 潮崎 敏彦

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター (株)

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

BX新生精機 (株)

「オーニング」製造・販売

BXテンパル (株)

「シャッター」製造・販売

BX沖縄文化シャッター (株)

「シャッター」販売

文化シャッター秋田販売 (株)

文化シャッター高岡販売 (株)
(3)

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル (株)
BX中央工業 (株)(1)

「ドア」製造

BXケンセイ (株)
BX鐵矢 (株)
BX東北鐵矢 (株)
BX朝日建材 (株)
BXルーテス (株)

「建築金物」製造・販売

BXカネシン (株)

「ドア」「スライディングウォール」製造・販売

BXティアール (株)

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 (株)

「建築材料」製造・販売

BX西山鉄網 (株)

「環境建材(再生複合材)」製造・販売

(株)エコウッド

< 海外事業展開 >

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

EUROWINDOW., JSC (2)

(ベトナム)

「ガレージドア」製造・販売・施工・アフターメンテナンス

BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD

Steel -Line Garage Doors Australia

Steel -Line Installations Australia

Steel -Line Garage Doors (WA)

Dynamic Door Service

(オーストラリア)

サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」

文化シャッターサービス (株)

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 (株)

「損害保険代理業」

BXあいわ (株)

「建築構造設計」

BX TOSHO (株)

リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」

BXゆとりフォーム (株)

< その他 >

「ビル用サッシ他」製造・販売

不二サッシ (株)グループ

(2)

- 1 非連結子会社で持分法非適用会社
- 2 関連会社で持分法適用会社
- 3 関連会社で持分法非適用会社

連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2018年3月期		2019年3月期上期		増減	
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	85,213	55.4	82,653	54.5	2,560	97.0
現金・預金	20,017	13.0	22,642	14.9	2,625	113.1
受取手形・売掛金	45,684	29.7	34,101	22.5	11,583	74.6
たな卸資産	16,539	10.8	21,640	14.3	5,101	130.8
その他	2,973	1.9	4,270	2.8	1,297	143.6
固定資産	68,564	44.6	69,110	45.5	546	100.8
土地	11,540	7.5	12,124	8.0	584	105.1
投資有価証券	18,642	12.1	17,862	11.8	780	95.8
その他の投資・資産	2,559	1.7	2,576	1.7	17	100.7
その他	35,823	23.3	36,548	24.0	725	102.0
資産合計	153,778	100.0	151,764	100.0	2,014	98.7
流動負債	58,522	38.1	48,494	32.0	10,028	82.9
支払手形・買掛金	32,143	20.9	28,953	19.1	3,190	90.1
短期借入金	11,700	7.6	3,569	2.4	8,131	30.5
その他	14,679	9.6	15,972	10.5	1,293	108.8
固定負債	25,059	16.3	33,893	22.3	8,834	135.3
転換社債型新株予約権付社債	-	-	10,000	6.6	10,000	-
長期借入金	3,350	2.2	2,398	1.5	952	71.6
退職給付に係る負債	18,351	11.9	18,489	12.2	138	100.8
その他	3,358	2.2	3,006	2.0	352	89.5
負債合計	83,582	54.4	82,387	54.3	1,195	98.6
純資産合計	70,195	45.6	69,376	45.7	819	98.8
負債・純資産合計	153,778	100.0	151,764	100.0	2,014	98.7

1株当たり株主資本
 期末株価
 PBR(株価純資産倍率)

979円11銭
 1,033円
 0.95

965円63銭
 855円
 0.89

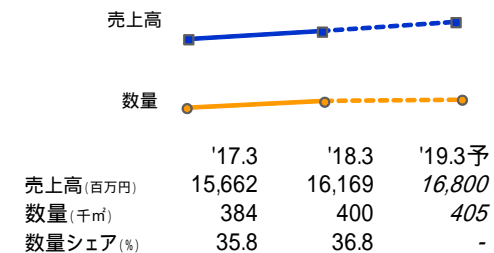
連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2018年3月期上期	2019年3月期上期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,702	6,327	1,625
税金等調整前当期純利益	34	1,834	1,868
減価償却費	1,295	1,390	95
売上債権の増減額(は増加)	8,350	12,044	3,694
仕入債務の増減額(は減少)	1,352	3,352	2,000
たな卸資産の増減額(は増加)	4,298	4,735	437
法人税等の支払額	879	1,012	133
その他	1,620	158	1,462
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	2,690	3,351	661
投資有価証券の取得による支出	13	10	3
有形固定資産の売却による収入	143	14	129
有形固定資産の取得による支出	2,517	1,665	852
無形固定資産の取得による支出	357	338	19
その他	54	1,352	1,406
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,086	642	1,444
短期借入金の純増減額(は減少)	-	8,502	8,502
長期借入金の返済による支出	1,100	1,125	25
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	9,969	9,969
配当金の支払額	717	717	0
その他	269	267	2
4. 現金及び現金同等物の増減額(は減少)	81	2,178	2,259
5. 現金及び現金同等物の期首残高	20,860	18,377	2,483
6. 現金及び現金同等物の期末残高	20,779	20,556	223

シャッター関連製品の状況（単体）

< 重量シャッター >

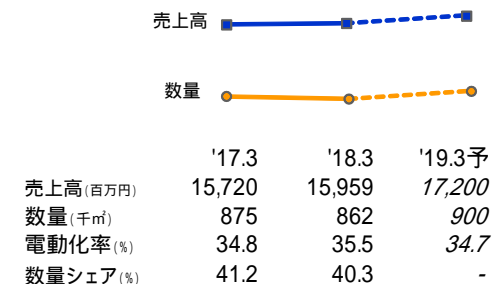


数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比9.4%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比3.9%増の168億円を計画。

< 軽量シャッター >

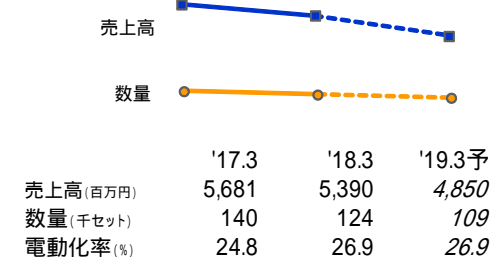


数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比6.3%増。
- ◆ 通期の売上高は、前期比7.8%増の172億円を計画。

< 窓シャッター >



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比14.7%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比10.0%減の48億5,000万円を計画。

< ドア >



'17.3 '18.3 '19.3予
売上高(百万円) 36,267 35,376 36,500



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比1.7%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比3.2%増の365億円を計画。

< パーティション >



'17.3 '18.3 '19.3予
売上高(百万円) 8,276 8,159 7,600



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比7.2%減。
- ◆ 通期の売上高は、前期比6.9%減の76億円を計画。

< エクステリア >



'17.3 '18.3 '19.3予
売上高(百万円) 7,732 8,058 8,400

横引雨戸を含めた金額で表示しています。



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比4.5%増。
- ◆ 通期の売上高は、前期比4.2%増の84億円を計画。

問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曽根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>